

しどう なが
指導までの流れ Flow to guidance

①まずは、保護者の方から…
札幌市教育センター教育相談室に
相談していただきます。
(011) 671-3210
電話相談は、月曜日から金曜日までの
8:45~17:15 まで受け付けています。

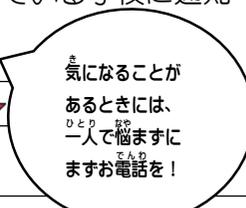
②青葉小学校の『まなびの教室』を
見学していただきます。

③『まなびの教室』に通いたい・知らせたいという希望があれば、札幌市教育センター教育相談室に申し込みをしていただきます。

④『札幌市学びの支援委員会』で『まなびの教室』での学習が、必要と認められた場合に指導が受けられます。

⑤保護者の方と、通学している学校に通知が届きます。

⑥指導が開始されます。



こうつう
交通アクセス access



〒004-0021
札幌市厚別区青葉町6丁目2-24
TEL (011)895-9687



くるま 車 : 新札幌駅より 5分
とほ 徒歩: 新札幌駅より 15分
バス: JR バス循環新12・13・16
新11・13・71・110 (1・3・6番のりば)
あおばちょう ちようめ げしや とほ 徒歩
『青葉町8丁目』下車徒歩5分

さっぽろしりつあおばしょうがっこう
札幌市立青葉小学校

つうきゅうしどうきょうしつ
通級指導教室

きょうしつ
まなびの教室

Sapporo Municipal Aoba Elementary School



まなびの教室は、子どもたちが自分に
自信をもち毎日を明るく元気に過ごしてい
くために、学習面・生活面・対人面の困りを
軽減する支援を行うところです。
保護者の方や、担任の先生とも連携しな
がらお子さんのよさを引き出していきます。

こま 困っていませんか？

あちこちに注意がいてしまい、集中できない。

お友達とトラブルになりやすい。

思ったことをすぐに口に出してしまう。

予定を変更されるのが苦手。

話の聞きもらしが多い。

漢字の読み書きなど、特定の学習のみ極端に苦手。

ノートをうまく書くことができない。

または、書きたがらない。



まなびの教室を
かんが 考えてみませんか？



こ かよ どんなお子さんが通えるの？

通常の学級に通う、学習面・行動面・対人面

などで困りがあるお子さんが対象となります。

青葉小学校のまなびの教室は、厚別区に校区があるお子さんが通えます。

がくしゅう どういう学習をするの？

それぞれの特性に応じて、困りの改善や克服を目指し、週1回から月1回ほど、1コマ 45分の個別指導(1名)・ペア指導(2名)・グループ指導(3名～4名)を行います。

<学習>

○すべての学習の土台となる、見る力・聞く力・集中力・記憶力を伸ばす取り組みを少しずつ積み重ねます。

○困っていることに応じた課題に取り組みます。

○「できた！」という経験を積み重ね、学習に対する自信と意欲を高めます。

<コミュニケーション～運動・遊び・もの作り・調理～>

○人とのコミュニケーションを図る練習をします。

○ルールを守ることを学びます。

○協力するよさや大切さを味わいます。

○負けや失敗を受け入れることを練習します。

○もの作りや調理など、集中して取り組む経験から達成感を味わいます。また、説明を見たり、聞いたりして手順を理解し、順序立てて物事に取り組む経験を積みます。



まなびの教室の様子



学習室で、ビジョントレーニングやプリント学習を行います。



お子さんに合わせて教材をご用意します。



もの作り



ボードゲームなどの遊び。



バドミントン・ボール遊び・野球・サッカー…



保護者の方向士の交流『保護者の学習会』



年に1度のお楽しみ『親子レク』

